

さ さ え 愛



「ささえ愛」は、あなたの地域で活動する福祉委員に関する情報紙です

8月30日(木)坂井市社会福祉協議会本部(坂井町)で福祉委員代表委員研修を開催しました。各支部代表等の福祉委員28名が参加し、避難所運営ゲーム(HUG)を行いました♪



『避難所運営ゲーム(HUG)』

災害時の避難所運営を皆で考えるためのゲームです。避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所として見立てた学校の体育館や教室の平面図にどれだけ適切に配置できるか、また、避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するものです。



各グループでの工夫した点を発表



Aグループ



毛布、食料など次々に救援物資が届くため、搬入がスムーズにできるよう、荷おろしスペースと備品庫の配置を工夫した。

Dグループ



1階の保健室をケガ等の治療スペースにした。また、同じ階の教室を傷病者や障がいを抱える方のためのスペースとして設けた。

Bグループ



体育館内の避難スペースに通路を設けた。避難スペースは「コミュニティ」を考え、ブロック分けにすることで「顔見知り=安心感」に繋がられるよう配慮した。

Eグループ



体育館内の外周にも通路を確保。屋外には女性専用の仮設トイレを多めに設置。教室の一部は救援物資の仕分け作業スペースにした。

Cグループ



体育館内には、避難スペース以外に救護など緊急的な出来事に対応するための予備スペースも設けた。

～ まとめ ～

- ①災害時は、
自助・共助・公助が基本。
- ②特に避難所では**共助**
(助け合い、支え合い)が大切。
- ③それは普段の時から
“**つながり**”があつてこそ!



ある日の様子

～ 世代を超えて障スポで交流 ～

子ども福祉委員モデル事業の一環として、夏休みの8月21日に障スポオープン競技の卓球バレーを兵庫小学校4～6年生全員と共に体験しました。春江の昭和さわやかチームを講師に迎え競技の基本的な説明から始まり、実演の指導をしていただきその後、実際に対戦形式のゲームで卓球バレーを楽しみました。障がい者への理解の促進を目的としたものでしたが、ゲームに熱が入り本来の目的を逸したところもありました。しかし、高齢者の指導員に対しての配慮も有り地域の大人と子供の交流としては効果があったと思います。 坂井町上兵庫区 福祉委員 内江輝三



行ってきたぞー

～ 障がい理解を深める 第一歩！ ～

先日、三国希望園という障がいを抱えた方たちの働く場に“作業ボランティア”として行ってきました。作業室内は、利用者さんや職員さん達の笑顔であふれ、利用者さんと1対1のペアになり、部品の袋詰め作業を行いました。2人で声を掛け合いながら取り組み、ノルマを達成したときは、その達成した喜びを共に分かち合うことができ、ボランティアに行った自分が元気をもらうことができました。これまでは、主に高齢者を対象にサロンなどの行事に参加の呼びかけをしてきましたが、今後は、障がい者の方も地域の中で孤立することなく、安心して生活できるように行事の参加を呼び掛けたり、福祉マップに落とし込むなど、住民同士の支え合いの構築に積極的に取り組んでいきたいと思います。 三国町仲滝谷区 福祉委員 高森房子



ここで一言

～ 福井国体から学んだ“ささえ愛” ～

平成最後の国体となった「福井しあわせ元気国体」「福井しあわせ元気大会」が、多数のボランティア団体および個々の協力で開催されました。これらの大会では、文字どおり県民一丸となつての「共助」、そして、本情報紙のタイトルである「ささえ愛」の精神でボランティア活動がなされました。私たち福祉委員としてもこの“共助 & ささえ愛”の言葉を基本に、地域の見守り活動を実践していきましょう。 丸岡町城北2区 福祉委員 上杉秋良

坂井市社協 各支部連絡先

- みくに支部
TEL : 82-1170
- まるおか支部
TEL : 68-5060
- はるえ支部
TEL : 51-4545
- さかい支部 (本部)
TEL : 67-0699

<編集後記> ～ 古き良き時代の“お母さん” ～

毎朝、雨、風、雪の日も集団登校で児童の安全・安心・指導をしながら見守りをしている75歳位の“お母さん”がいます。お母さんは、サロンの企画や手作りでチラシを作成して掲示板に貼ったり、今年2月の大雪時には、お母さんから私に「ある一人暮らしの家を見て来てほしい」と連絡が入り、訪問すると玄関は積雪で出入りができない状況でしたが本人は何とか無事でした。

また、敬老会の参加の呼びかけを行っていたとき、わからない対象者がいることを話すとすぐに携帯で連絡を取ってくれました。

誰かに褒めてもらうためにやっているわけでもなく、目立たないところで支えてくれる人がいる……。現代は少子高齢、核家族社会ですが、古き良き時代を思い出させてもらえます。



春江町江留上錦区 福祉委員 坪内優三

【お詫びと訂正】

平成30年8月発行「ささえ愛(29号)」の記事「第7期福祉委員 幹事名」に誤りがございました。お詫びとともに訂正いたします。【誤】みくに：小林義信 ⇒ 【正】みくに：小林信義